

愛媛・松山市●経験豊富なドクターによる最新の眼科治療

大都市の大病院と変わらぬ最新鋭の設備と独自のチーム医療

糖尿病網膜症の人を失明から救うことが最大の願い



やまにし眼科 院長 山西 茂喜 医師

医師の都市部集中化問題は、すなわち高度医療、先進医療を受けたければ大都市の、それも大規模な総合病院に行かなければならないという、医療の質の地域格差問題でもある。しかし本当にそうだろうか。むろんすべての科に当てはまるわけではないが、豊富な症例を扱う大病院で経験を積み、そこで感じた大病院ならではのデメリットを解消すべく、地方での開業に踏み切る名医たちも現れている。山西茂喜医師もその一人だ。

大病院での経験をもちに 短時間で高度な治療を

生活習慣病から、眼科では網膜硝子体疾患や糖尿病網膜症の患者数が増えている。手遅れになると失明の危険もあり、早急な治療が必要だが、手術のため大都市の大病院に行くという人

が、まだまだ地方には多いと、山西医師は語る。「私はいくつか大病院での勤務経験をきて、どこでも問題になるのが待ち時間の長さでした。建物に入って診察券を受付に出してから、会計を済まして建物を出るまでに救時間かかるのが当たり前。手術も数ヶ月待ちになってしまっ

が瞬時に伝わるようスタッフ全員がインカムを着している。手術機器を独自で開発したり、可能な限り痛みを和らげる低侵襲のレーザーを用意、大病院勤務時代と同じように治療が行える環境と体制が整備されている。

可能な限り 失明の危機の人を助けたい

「昨日、眼科手術、特に網膜硝子体疾患や糖尿病網膜症など失明の危機のある重度の疾患でも日帰り手術がほとんどです。わずか0.4〜0.5ミリほどの切開で手術を行うので、縫合の必要すらありません。その日のうちに自宅にお帰りいただいて、食事の支度をしたり、ペットの世話をしたり、いつも通りに過ごしていただけます。もちろんこのクリニックでも出来るというわけではありませんが、当院では検査から手術まで、私が大病院で行ってきた治療と同じものを提供できるようにしています」

また俗に3分診療といわれる大病院と違い、地域医療で高い医療技術と同じように大切なのが、患者とのコミュニケーションだ。「予約制をとることで、無駄な待ち時間を減らすだけでなく、患者さん一人ひとりとしっかり

Yamanishi Eye Clinic やまにし眼科
http://www.yamanishi-ganka.com/

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:00	★	★	★	★	★	★
午後 1:30~3:00	手術	手術	手術		手術	
午後 3:00~5:00	★	★	★		★	

※外来診療は原則予約制となります。予約外の受付は診療時間の30分前に終了します。
休診日◆日曜・祝日
所在地◆愛媛県松山市枝松 1-9-48
アクセス◆JR 松山駅・伊予鉄 松山駅より伊予鉄バス「久米駅前」行き乗車「県警察官舎前」下車
電話◆089-998-2525
やまにし眼科 検索



最新の検査機器



クリニック外観